

## 【会告】 (第4版)

セミナー「災害時における水の確保—地下水利用の現状と課題をさぐる—」

主催：公益社団法人 日本地下水学会

後援：公益社団法人 土木学会

公益社団法人 地盤工学会

公益社団法人 雨水貯留技術協会

一般社団法人 全国地質調査業協会連合会

一般社団法人 土壤環境センター

一般社団法人 日本応用地質学会

一般社団法人 水文・水資源学会

日本水文科学会

### ○開催趣旨

2011年の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）、2016年の熊本地震、2018年の北海道胆振東部地震など2010年以降全国的に大きな地震が頻発しており、さらに今後30年以内に80%以上の確率でマグニチュード8以上の巨大地震が南海トラフや根室沖で起こることが予想されています。また近年では、台風や集中豪雨による豪雨災害なども多数発生しています。このような災害時には生活用水をどれだけ迅速に確保できるかが非常に重要になってきます。各自治体による防災計画では、水道の早期復旧による対応が想定されていますが、例えば、熊本地域では、熊本地震の際に発生した大規模な断水の完全復旧には最大20日間程度を要しました（くまもと地下水財団、2016）。また、東日本大震災では、水道管の破損のみでなく配水池の崩壊や浄水場の被災などにより、広範囲にわたり長期間の断水を余儀なくされました（古米、2012）。このような災害時に地下水は生活用水として重要な水源となり得ると考えられます。

1995年の兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）では、緊急の生活用水源として井戸水が大きな力を発揮し、その後、神戸市の提言により、国土交通省が全国の自治体に対し、災害時協力井戸制度の導入を促しました。本学会においても2012年にシンポジウム「震災時の非常用水源としての地下水利用の在り方」を開催し、国や自治体を中心に地震時の地下水利用についての取り組みを紹介しました。その後、2014年に水循環基本法が制定され、2018年からスタートした内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）「国家レジリエンス（防災・減災）の強化」に災害時地下水利用システム開発が組み込まれるなど、地下水を取り巻く環境は近年大きく変化してきています。しかしながら、地下水に関する学術研究の現場と自治体の現状には大きな隔たりがあり、過去の研究や体験によって得られた知見を将来に

活かすためには、産学官が互いの現状を適切に把握しつつ、連携・協力を進めていくことが必要不可欠です。

このような観点から、今回地下水学会では国レベルの対応状況、自治体での経験や準備状況などについて専門家や担当者をお招きし、被災時の地下水利用のあり方について考える機会を設けることといたしました。被災時の非常用水源としての地下水利用はどうあるべきかについて、専門家や自治体関係者のみならず一般の皆様も対象として広く理解を深める機会としたいと思います。

○日程：2020年1月17日（金）13：00～17：00

○場所：日本大学文理学部 3号館3206教室（東京都世田谷区桜上水3-25-40）

○会費：正会員 2,000円  
準会員（学生会員） 1,000円  
行政職員（国・地方自治体関係者） 2,000円  
非会員（学生） 2,000円  
非会員（学生以外） 3,000円

#### ○セミナーのプログラム（案）

- 13：00～13:10 開会あいさつ（中島 誠：地下水学会副会長）
- 13：10～13：40 国土強靱化計画に基づく震災時の地下水利用に対する考え方  
（五十嵐 崇博氏：応用地質株）
- 13：40～14：40 S I Pの研究対象地域である濃尾平野における地下水研究事例
- 13：40～14：10 濃尾平野の扇状地河川からの地下水涵養・流動特性  
（神谷 浩二氏：岐阜大学）
- 14：10～14：40 濃尾平野の地盤沈下を考慮した適正揚水量の検討事例  
（大東 憲二氏：大同大学）
- 14：40～15：00 休憩
- 15：00～16：00 自治体の取り組み
- 15：00～15：30 熊本地震の経験と教訓  
（永田 努氏：熊本市環境局）
- 15：30～16：00 秦野市における被災時地下水利用の準備状況  
（谷 芳生氏：秦野市環境産業部）
- 16：00～16：30 健全な地下水資源活用のための提言  
—東日本大震災での井戸の被害状況—  
（石塚 学氏：全国さく井協会）
- 16：30～16：50 全体質疑
- 15：50～17：00 閉会あいさつ（徳永 朋祥：地下水学会会長）

○参加申込先：日本地下水学会ホームページ

(URL) <http://www.jagh.jp/jp/g/activities/seminar/17.html>

\*事前受付（1/13～切）が必要ですので、必ずホームページにて内容をご確認ください。

以 上